



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月13日

上場会社名 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 上場取引所 東
コード番号 8769 URL <https://www.armg.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥越慎二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 天田貴之 TEL 03-5794-3800
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,238	36.5	144	174.1	152	140.7	97	162.6
2025年3月期第1四半期	1,640	5.0	52	31.2	63	26.5	37	26.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 275百万円 (642.7%) 2025年3月期第1四半期 37百万円 (26.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	6.20	—
2025年3月期第1四半期	2.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,002	3,979	43.6
2025年3月期	8,724	3,959	44.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 3,928百万円 2025年3月期 3,908百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,925	16.0	1,140	11.5	1,140	11.3	780	4.8	49.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有
新規 1 社 健康年齢少額短期保険株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	16,280,200株	2025年3月期	16,280,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	582,654株	2025年3月期	583,354株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	15,696,892株	2025年3月期1Q	16,644,096株

（注）期末自己株式数には、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式（2026年3月期1Q 307,500株、2025年3月期 308,200株）が含まれております。また、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2026年3月期1Q 308,154株、2025年3月期1Q 308,200株）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料] P. 3 「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調が続いたものの、中東問題による原油価格の変動やトランプ関税への不安等、依然として地政学的リスクや物価上昇の動向など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境の下、当社グループは、「企業に未来基準の元気を！」をコーポレートメッセージに掲げ、「安心して働ける環境」と企業の「活力ある個と組織」の創出をミッションとし、ウェルビーイング関連領域（＊）における事業活動を展開してまいりました。2024年5月に「中期経営計画2026」（2024年度～2026年度）を策定し、“効果につながるプラットフォームとソリューションをより多くの企業に提供し、ウェルビーイング領域における圧倒的地位を目指す”ことを骨子に、実効性のある豊富で質の高いサービスをワンストップで提供することにより、顧客企業の真のパートナーとしてウェルビーイング経営を支援することを基本方針としております。具体的には、(1)「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」（＊＊）を基軸とした総合販売の継続と進展、(2)既存事業のオーガニックグロース強化、(3)飛躍的成長のための新たな取り組みの推進、(4)チャネル販売の推進、(5)システム・業務改革の推進および収益性の向上を重点テーマとして各種施策を推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を軸に、複数サービスの総合提案による新規顧客の獲得と、ウェルビーイング関連領域における企業課題に即した様々なソリューションの提案活動を行ってまいりました。

（＊）当社事業における心身の健康、従業員の成長、リスクの予防と発生時の支援、両立支援、福利厚生、余暇支援、会社との一体感醸成等の業務領域

（＊＊）ストレスチェック義務化対応プログラム「アドバンテッジ タフネス」による調査結果や健康診断結果など心身の健康データや、勤怠・休業等の人事労務情報を集約し、ダッシュボードでの見える化、データ分析、課題抽出、効果的なソリューションの提案を行うデータマネジメントプラットフォーム

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、メンタリティマネジメント事業及び就業障がい者支援事業は堅調なオーガニック成長を持続、また、2024年9月30日からグループ入りした株式会社Mediplatおよび株式会社フィッツプラスの業績が寄与し、増収となりました。費用面につきましては、成長戦略に基づくシステム投資に伴うソフトウェア償却費など経費は増加いたしました。事業拡大と効率化などによる固定費の増加抑制により増益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,238百万円（前年同期比36.5%増）、営業利益は144百万円（前年同期比174.1%増）、経常利益は152百万円（前年同期比140.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は97百万円（前年同期比162.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

（メンタリティマネジメント事業）

当事業におきましては、ストレスチェックやエンゲージメントサーベイを起点に組織改善までを担うワンストップサービス「アドバンテッジ タフネス」の新規顧客の獲得に注力いたしました。また、組織改善のPDCAを加速するパルスサーベイスシステム「アドバンテッジ p d c a（ピディカ）」の導入などエンゲージメント領域の拡大や顧客企業の課題解決ニーズに対応した効果につながる様々なソリューションの提案活動を推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、堅調なオーガニック成長に加え前期に連結子会社化した株式会社Mediplatおよび株式会社フィッツプラスの業績寄与もあり、大幅な増収となりました。費用面につきましては、売上増加に伴う変動費の増加やシステム投資に伴う償却費の増加など経費が増加しましたが売上が伸長したことにより増益となりました。

これらの結果、メンタリティマネジメント事業の売上高は1,722百万円（前年同期比46.3%増）、セグメント利益は189百万円（前年同期比112.4%増）となりました。

（就業障がい者支援事業）

当事業におきましては、新たな連携先との関係構築及び既存連携先との関係深化によるGLTD（Group Long Term Disability：団体長期障害所得補償保険）の新規顧客開拓に取り組みました。また、会社と傷病休のほか産休・育休・介護休業等により休業中の従業員を繋ぎ、人事部門の負担とリスクの軽減と休業者の復職や仕事の両立をサポートする休業者管理支援クラウドサービス「ADVANTAGE HARMONY（アドバンテッジハーモニー）」の営業活動を推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、GLTD販売および「ADVANTAGE HARMONY

(アドバンテッジハーモニー)」の新規契約が堅調に推移し増収となりました。費用面につきましては、顧客拡大に伴うオペレーションシステムの増強等により経費負担が増加いたしました。売上高が伸長し、増益となりました。

これらの結果、就業障がい者支援事業の売上高は448百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント利益は118百万円（前年同期比27.6%増）となりました。

(リスクファイナンス事業)

主に企業等に勤務する個人を対象として保険商品を販売している当事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で減収となりました。費用面につきましては、職域向け保険募集システム（EB保険プラットフォーム）への投資により経費負担が増加いたしました。

これらの結果、リスクファイナンス事業の売上高は67百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は42百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末より278百万円増加し、9,002百万円となりました。流動資産は160百万円減少し、3,540百万円となりました。これは主に、当期間の経営成績の結果により現金及び預金が増加した一方で、売掛金、保険代理店勘定が減少したことによるものです。固定資産は438百万円増加し、5,461百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得により発生したのれんが増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末より258百万円増加し、5,022百万円となりました。流動負債は309百万円増加し、3,197百万円となりました。これは主に、未払金および保険料預り金が減少した一方で前受収益が増加したことによるものです。固定負債は51百万円減少し、1,825百万円となりました。これは主に、長期借入金返済によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より19百万円増加し、3,979百万円となりました。これは主に、配当を実施した一方で、保有する株式銘柄が株式上場したことに伴いその他有価証券評価差額金が発生したことによるものです。

なお、保険会社に帰属する保険料で当社の口座に残高のあるものについては、保険代理店勘定及び保険料預り金として対照勘定処理を行っております。これらを除いた場合の自己資本比率は44.0%となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日の「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、本資料発表日現在予測可能な株式数の増減を反映させた期中平均株式数を元に算出しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,733,632	2,006,658
売掛金	1,403,046	1,224,998
保険代理店勘定	215,220	73,691
その他	348,886	235,290
流動資産合計	3,700,785	3,540,638
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	323,567	323,567
減価償却累計額	△217,293	△221,449
建物附属設備（純額）	106,273	102,118
工具、器具及び備品	157,714	158,867
減価償却累計額	△132,243	△134,847
工具、器具及び備品（純額）	25,471	24,020
リース資産	6,600	6,600
減価償却累計額	△2,151	△2,481
リース資産（純額）	4,448	4,118
有形固定資産合計	136,193	130,257
無形固定資産		
のれん	252,106	639,768
顧客関連資産	1,020,099	1,001,794
ソフトウェア	1,926,753	2,202,174
ソフトウェア仮勘定	502,211	147,783
その他	13,317	13,683
無形固定資産合計	3,714,488	4,005,204
投資その他の資産		
投資有価証券	557,579	817,200
敷金及び保証金	207,193	208,506
繰延税金資産	395,875	261,455
その他	11,927	38,811
投資その他の資産合計	1,172,575	1,325,973
固定資産合計	5,023,257	5,461,434
資産合計	8,724,042	9,002,073

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	226,416	226,416
未払金	675,918	425,548
未払法人税等	76,668	14,507
前受収益	853,992	1,623,952
保険料預り金	215,220	73,691
リース債務	1,452	1,452
賞与引当金	305,230	146,868
役員賞与引当金	18,841	3,754
その他	343,643	511,118
流動負債合計	2,887,383	3,197,310
固定負債		
長期借入金	1,571,968	1,515,364
株式給付引当金	197,264	202,487
リース債務	3,562	3,199
資産除去債務	103,950	104,005
繰延税金負債	—	161
固定負債合計	1,876,745	1,825,218
負債合計	4,764,129	5,022,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	365,964	365,964
資本剰余金	317,554	317,554
利益剰余金	3,707,056	3,548,225
自己株式	△481,791	△481,116
株主資本合計	3,908,783	3,750,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	177,787
その他の包括利益累計額合計	—	177,787
新株予約権	51,130	51,130
純資産合計	3,959,913	3,979,545
負債純資産合計	8,724,042	9,002,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,640,331	2,238,584
売上原価	498,655	747,203
売上総利益	1,141,675	1,491,381
販売費及び一般管理費	1,088,774	1,346,399
営業利益	52,901	144,982
営業外収益		
受取配当金	10,208	11,646
未払配当金除斥益	363	366
助成金収入	539	—
その他	563	87
営業外収益合計	11,673	12,101
営業外費用		
支払利息	589	4,914
支払手数料	756	—
営業外費用合計	1,346	4,914
経常利益	63,228	152,169
税金等調整前四半期純利益	63,228	152,169
法人税、住民税及び事業税	429	2,170
法人税等調整額	25,764	52,748
法人税等合計	26,194	54,919
四半期純利益	37,034	97,250
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,034	97,250

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	37,034	97,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	177,787
その他の包括利益合計	—	177,787
四半期包括利益	37,034	275,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,034	275,037
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	183,466千円	245,235千円
のれんの償却額	4,781	7,355

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,177,509	394,073	68,748	1,640,331
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,177,509	394,073	68,748	1,640,331
セグメント利益	89,256	93,169	45,222	227,648

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,648
全社費用(注)	△174,747
四半期連結損益計算書の営業利益	52,901

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,722,776	448,737	67,071	2,238,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,722,776	448,737	67,071	2,238,584
セグメント利益	189,586	118,876	42,344	350,807

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	350,807
全社費用(注)	△205,824
四半期連結損益計算書の営業利益	144,982

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

健康年齢少額短期保険株式会社の全株式を取得したことにより、のれんが395,017千円発生しております。なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、当該のれんが帰属する報告セグメントは現在検討中であります。